

イノベーションにインセンティブを与え、保全目標に合致し、抗生物質へのアクセスを確保する新経済モデルに対する7つの提言

1



更なる投資を促すために、投資対効果(ROI)の魅力のかつ予見可能な見通しを提供する

2



小企業と大企業の両方にリスク負担に対する報酬を与える。

3



新薬の登録と継続的な開発にインセンティブが与えられるシステムとなる抗生物質の研究開発を構想する。

4



耐性菌が増殖する前に新規抗生物質を開発することは社会的価値があると位置づけ、そのイノベーション創出に報酬を与える。

5



抗生剤の使用量規制にインセンティブを与え、保全目標を達成する。

6



グローバルレベルで適用する。

7



他の抗生物質に耐性のある感染症患者すべてがアクセスできるようにする。

IFPMA加盟会社が保有する 抗菌開発化合物のパイプライン (2015年版)

主な数字

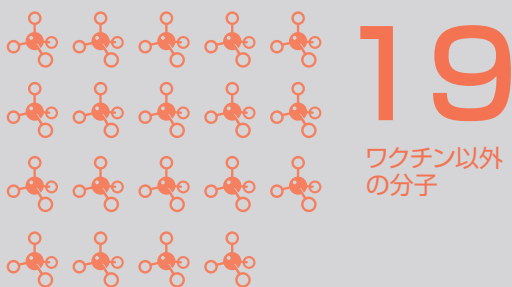
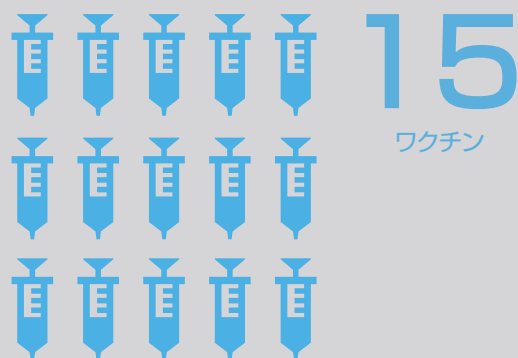
開発中の抗菌化
合物の総数

34

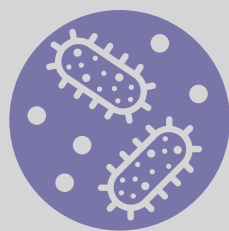
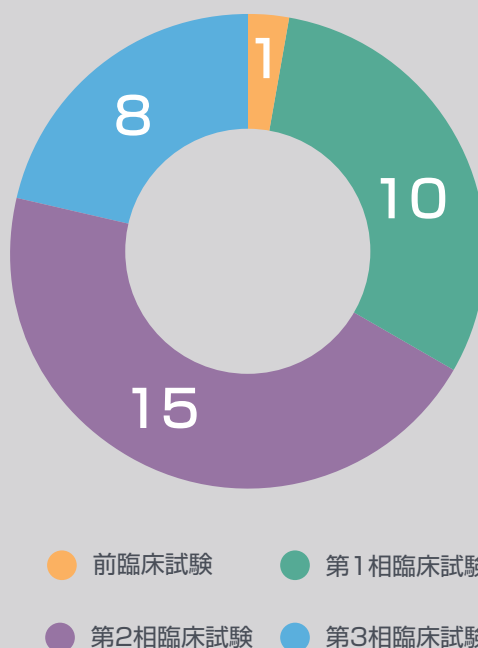
調査したIFPMA加盟
会社の数

11

ワクチンとワクチン以外の
分子の割合



抗菌化合物の開発段階



15

15化合物がグラム陰性菌をターゲットにしている。一般的に、グラム陰性菌が、グラム陽性菌よりも抗生物質耐性になりやすい。

更なる情報は、下記のIFPMAウェブサイトでご確認ください。
www.ifpma.org/resources/publications.html

